

診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会(平成16年度第5回)

日時:平成17年3月31日(木)10:00~12:00

場所:三田共用会議所大会議室(3階)

議 事 次 第

1. 開会

2. 審議

3. その他

4. 閉会

平成16年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査の実施状況について

1. 調査の目的

慢性期入院患者に係る患者特性及びサービス提供の実態を調査し、慢性期入院医療の患者像及び分布の把握を行い、中央社会保険医療協議会における療養病棟等における慢性期入院医療の病態、日常生活動作能力（ADL）等に応じた包括評価に関する基礎資料を提供することを目的とした。

2. 調査対象病院

慢性期入院医療の患者像等を適切に評価するために、下記の病棟を有する病院を対象として患者特性調査、コスト調査、タイムスタディ調査等を実施した。

- ◆療養病棟入院基本料を算定している病棟
- ◆療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟
- ◆特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟
- ◆一般病棟入院基本料（老人一般病棟入院基本料）Ⅱ群3を算定している病棟

一貫した調査票で患者像を把握し、医療機能の分化を適切に評価するために、上記病棟に加え、下記の病棟を有する病院において患者特性調査のみを実施した。

- ◆回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟

3. 調査対象病院数

別紙1の抽出方法に従い抽出された250病院に対して調査協力依頼を行った。さらに、調査協力病院の確保を目的として、日本療養病床協会ならびに全日本病院協会に依頼して、療養病床を有する会員病院約700病院に対し調査協力依頼を行っていただいた。(一次調査協力依頼)

一次調査協力依頼により調査協力を得られた病院の属性を確認したところ、調査客体に偏りがみられたため、その偏りを補正することを目的として、許可病床数が200床未満の病院であって特殊疾患療養病棟入院料、一般病棟入院基本料Ⅱ群の3、又は回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病院などの約350病院に対して調査協力依頼を行った。(二次調査協力依頼)

上記の一次調査協力依頼及び二次調査協力依頼の結果、最終的に調査協力を得られた病院数は、90病院であった。

各病院の調査対象病棟数は、1病院原則2病棟とした。但し、特殊疾患療養病棟等明らかに異なる性質の病棟で構成されていれば最大3病棟までとした。なお、全ての病棟の患者特性が同じ場合には調査対象は1病棟とした。

図表 調査参加病院の属性

算定入院料種別による病棟区分	一般病棟との併設		許可病床規模		地域区分				計
	無し	有り	200床未満	200床以上	特別区・特 甲地	甲地	乙地	その他	
療養病棟入院基本料	17	15	25	7	3	3	2	24	32
療養型介護療養施設サービス費	10	3	8	5	1	1	2	9	13
特殊疾患療養病棟入院料(1、2)	8	7	10	5	2	0	4	9	15
一般病棟入院基本料Ⅱ群3	0	16	13	3	3	0	1	12	16
回復期リハビリテーション病棟入院料	4	10	9	5	4	1	1	8	14
計	39	51	65	25	13	5	10	62	90

4. 調査票の種類と内容

1) 施設特性調査票

調査対象病院の施設属性を把握することを目的として、過去に実施された調査における調査項目を整理した下記の項目を調査項目とした。

<主な調査項目>

医療機関名、診療科目、許可病床数等、同一もしくは関連法人による介護老人保健施設、介護老人福祉施設の有無、病棟の状況 等

調査票の記載は事務部門が行った。

2) 患者特性調査票

慢性期入院医療の患者像を適切に把握することを目的として、過去に実施された調査における調査項目を整理した下記の項目を調査項目とした。

<主な調査項目>

(患者特性に関する項目)

年齢、入院期間、要介護認定取得の有無、問題行動、ADL、認知症、疾患、病状や栄養状態の程度 等

(医療提供に関する項目)

治療、処置、リハビリテーション実施の状況、薬剤使用の状況 等

患者特性調査は、タイムスタディ調査基準日に入院している全ての患者を対象として行った。患者特性調査は、タイムスタディ調査基準日の前後1日間の状態を評価して調査票に記入した(タイムスタディ調査を実施しない回復期リハビリテーション病棟は、設定された調査基準日に入院している全ての患者を調査対象として患者特性調査を調査基準日の前後1日間の状態を評価して記入した)。

新規入院患者(患者特性調査の調査日に入院していた患者のうち調査日からさかのぼって2週間以内に入院した患者)については、上記の調査基準日から2週間後に患者特性調査を再度実施した。

なお、調査実施責任者は、調査対象病棟の看護師長とした。医事関連調査項目については、事務部門より情報提供を求めた。

3) タイムスタディ調査票

過去に実施された調査で用いられたものを参考として作成した調査票に基づき実施した。

タイムスタディ調査は、調査基準日に該当病棟に入院している全ての患者の療養に係る職員を対象とし、記入は自記式とした。調査は、調査基準日に実施した。

なお、対象職員の選定、該当病棟内で勤務する看護職、介護職への調査票の配付・回収に関する責任者は調査対象病棟の看護師長とした。部門兼任職員（該当病棟以外の患者にも関わる職員）については、事務部長の責任のもと、前述の看護師長が選定した対象職員リストをもとに、連絡・調整、調査票の配付・回収を実施した。

4) コスト調査票

調査対象病院全体のコストから、該当病棟、入院患者一人当たりの費用推計を行うための基礎数値を収集した。

コスト調査については、調査負担を勘案し、調査対象施設全体に行う「コスト調査（簡易版）」と一部の調査対象施設に対して行う「コスト特別調査」の2つの調査にわけて実施した。コスト特別調査の対象病院は、特別調査への協力の可否及び医薬品・材料等の払出量が把握可能かなどを調査した上で、最終的に約20病院で実施した。

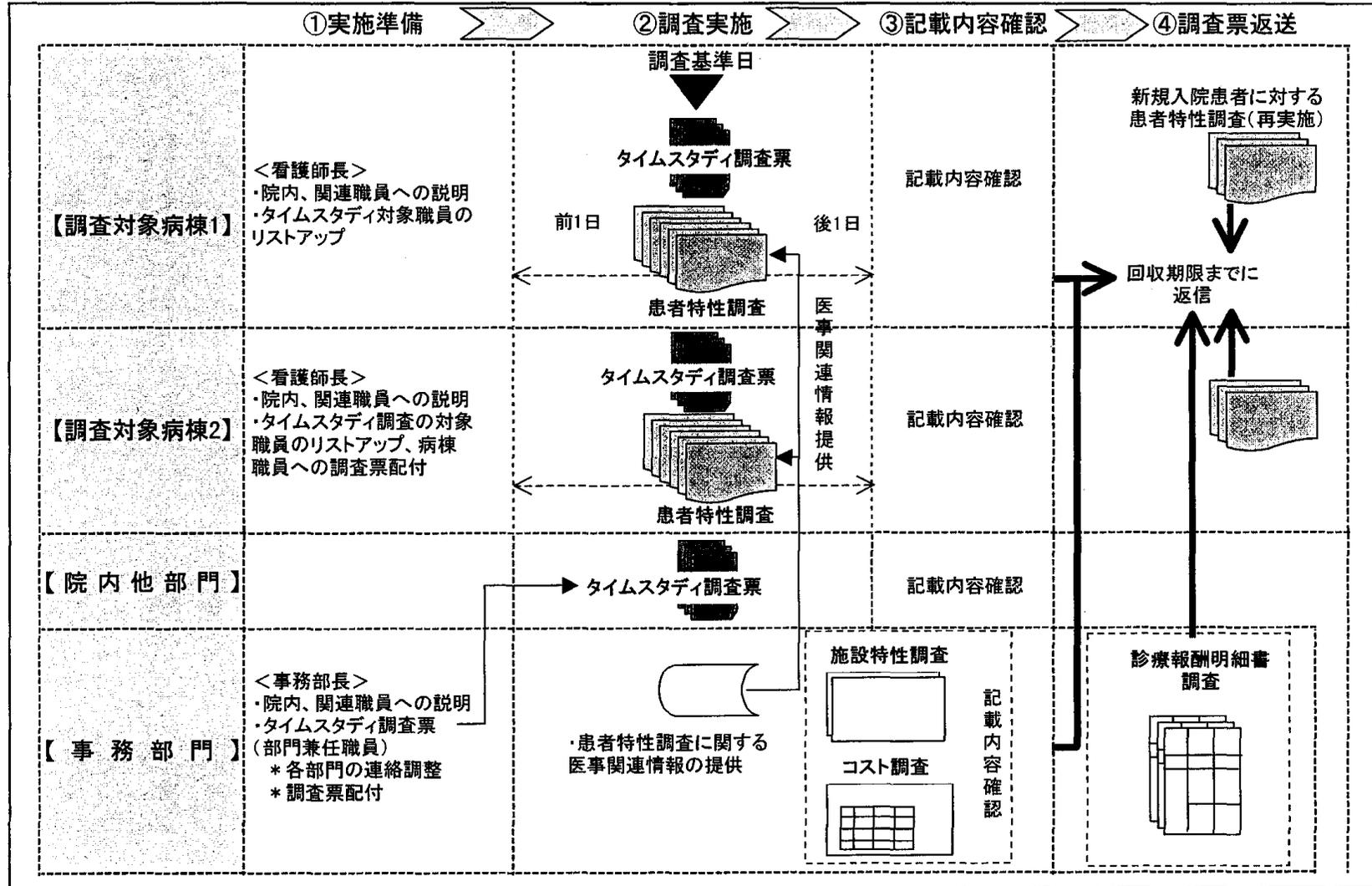
コスト調査は、調査対象病院の事務部門が調査票に記載した。対象期間は、平成15年度分とした。

5) 診療報酬明細書調査票

現行の診療報酬制度における点数の把握を目的として、患者特性調査の対象となった入院患者の1ヶ月分の診療報酬明細書を収集した。

患者特性調査の対象となった入院患者の調査基準日を含む月の前月1ヶ月分（平成17年1月分）の診療報酬明細書のコピーの提出を求めた。

図表 各調査票の実施責任部署と実施段取り



調査客体の抽出方法について

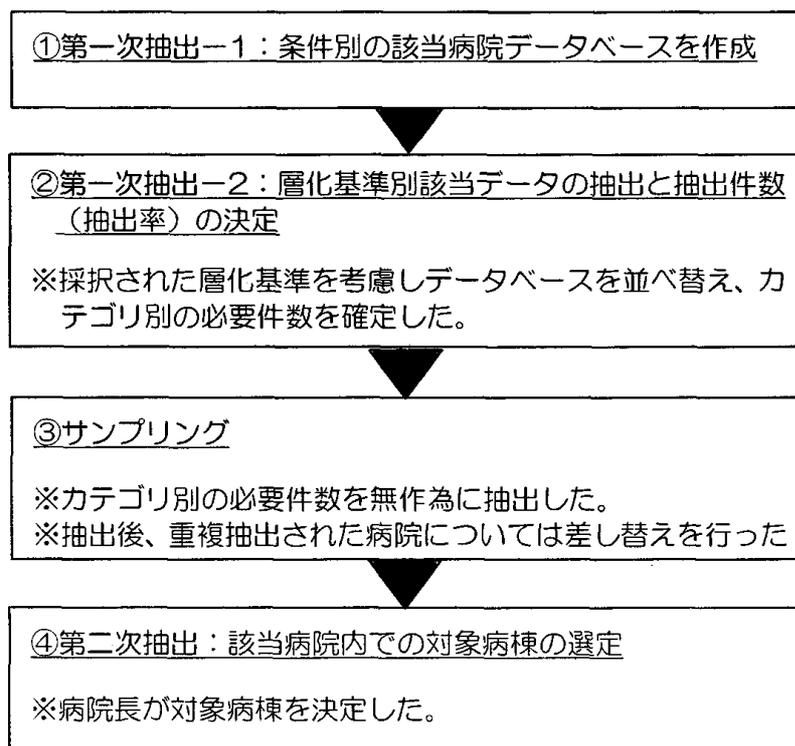
1. 抽出方針

- ・本調査研究の目的である療養病棟等における慢性期入院医療の病態、日常生活動作能力(ADL)等に応じた包括評価に関する基礎資料を提供するにあたっては、該当患者が入院している病院の施設機能の違いが入院患者の属性に与える影響を明らかにできるような客体を確保することが重要である。
- ・こうした観点から、調査客体としては客観的データにより把握される母集団を構成するいくつかの施設機能を代表するサンプルが確実に抽出されることが重要である。
- ・そのため、コスト調査結果に違いが見られることが予想される施設属性(病院類型、所在地、開設者、病床規模等)を勘案して抽出を行った。

2. 調査客体の抽出作業のながれ

- ・本調査研究は、第一次抽出を病院、第二次抽出を病棟とする、層化二段抽出法によって調査客体を決定した。

図表 抽出の手続き



3. 調査客体の抽出

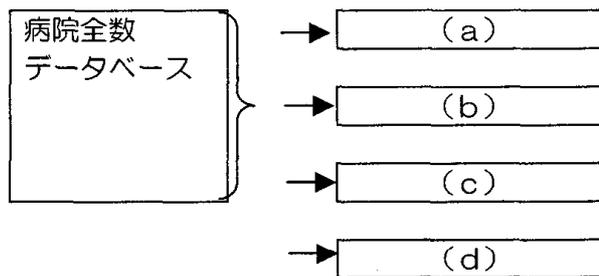
1) 第一次抽出の考え方

(1) 調査対象病棟を有する病院の抽出（第一次抽出-1）

以下の調査対象病棟を有している病院を全件抽出した。

- * 療養病棟入院基本料を算定している病棟 = (a)
- * 療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟 = (b)
- * 特殊疾患療養病棟入院基本料（1、2）を算定している病棟 = (c)
- * 一般病棟入院基本料（老人一般病棟入院基本料）Ⅱ群3を算定している病棟 = (d)
- * 回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟 = (e)

図表 第一次抽出-1



注：(a)から(e)に該当する病院は、重複が発生することに留意。

図表 母集団の状況

	母集団		
	病院数	病棟数	病床数
(a) 療養病棟入院基本料を算定している病棟	約 3,500	約 4,800	約 180,000
(b) 療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟	約 2,400	約 3,300	約 168,600
(c) 特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟	約 500	約 700	約 32,500
(d) 一般病棟入院基本料Ⅱ群3を算定している病棟	約 1,400	約 2,180	約 98,000
(e) 回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟	約 500	約 560	約 25,600

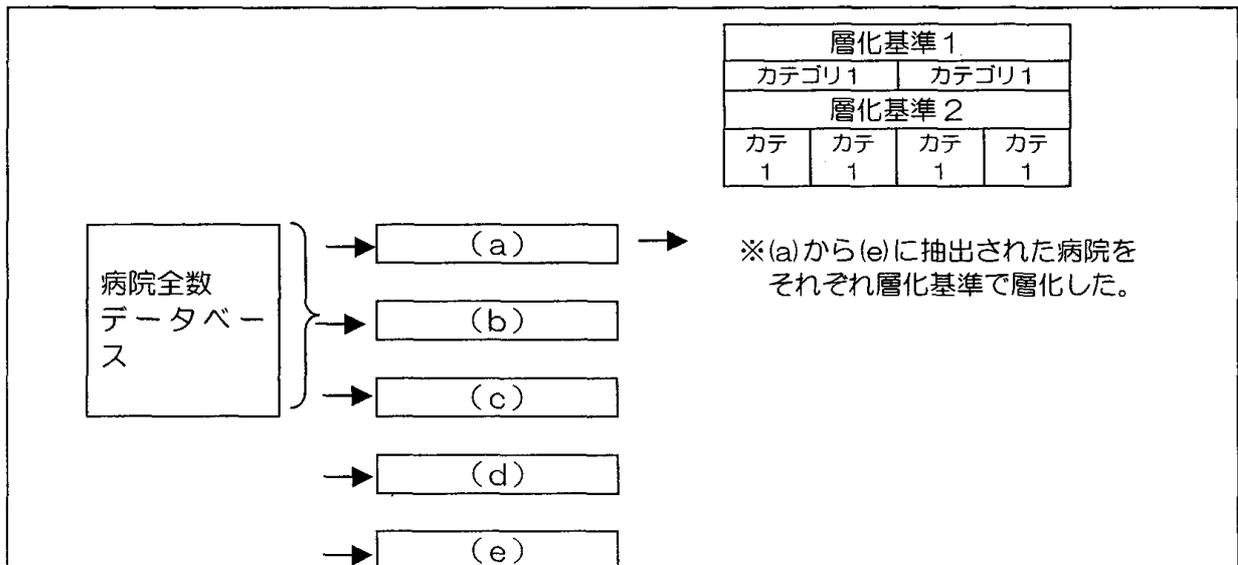
(2) 層化基準による該当病院の抽出（第一次抽出-2）

層化基準は下記の通りとした。

図表 層化基準

	層化基準として採用する理由	備考
病 院 類 型	・患者特性調査の結果（入院患者の違い）、コスト構造の違いに対する影響を勘案。	・病床種類の組み合わせにより病院類型を設定。 *療養病床のみ *療養病床と他の病床（一般病床等）の組み合わせ
所 在 地	・コスト調査結果に対する所在地の物価等の影響を勘案。	・使用する区分は、介護報酬における「厚生労働大臣が定める1単位の単価」における地域区分とした。 *特別区及び特甲地 *甲地 *乙地 *その他
病 床 規 模	・コスト調査結果に対する規模の影響を勘案。	・病院全体の病床規模を用い、200床未満／200床以上の区分を設定。

図表 第一次抽出-2 の考え方



(3) 抽出率について

層化基準に基づき分類されたカテゴリの中から客体として抽出する病院件数については、母集団の病床数を勘案し、また、前出の層化基準毎に最低 3 施設程度を確保するために、下記の通りとした。

図表 抽出件数（250 病院を抽出する場合）

	母集団			抽出数 (病院数)
	病院数	病棟数	病床数	
(a)療養病棟入院基本料を算定している病棟	約 3,500	約 4,800	約 180,000	90
(b)療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟	約 2,400	約 3,300	約 168,600	50
(c)特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟	約 500	約 700	約 32,500	30
(d)一般病棟入院基本料Ⅱ群 3 を算定している病棟	約 1,400	約 2,180	約 98,000	50
(e)回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟	約 500	約 560	約 25,600	30

(4) サンプルング

(3)で決定した件数に基づき、各カテゴリから実際の客体病院を無作為に抽出した。同一病院が複数のカテゴリで重複してサンプルングされる可能性があるため、重複病院は 2 回目以降、随時追加サンプルングされた病院と差し替えを行った。

2) 第二次抽出の考え方

第二次抽出は、調査対象病院において、病院長が、自院の病棟から原則 2 病棟の抽出を行った。また、特殊疾患療養病棟等明らかに異なる性質の病棟で構成されていれば、最大 3 病棟までとした。なお、全ての病棟の患者特性が同じである場合には調査対象は 1 病棟とした。

慢性期入院医療の包括評価に関する調査

調査実施スケジュール（第1次調査協力依頼）

日程	実施項目	主な内容
平成16年 12月27日～29日	対象施設の抽出	調査対象病棟を有する施設について、母集団の代表性を考慮しつつ、対象施設をリストアップした（約250施設）
平成17年 1月5日～13日	調査実施説明会への参加お願い状FAX送信	対象施設への調査実施説明会参加のお願い状をFAX送信した 加えて、日本療養病床協会並びに全日本病院協会を通じて約700施設へ調査の協力依頼を実施した
1月7日～21日	調査実施説明会への参加確認	調査実施説明会への参加可否回答書の回収を行った 回答書の返信が遅れている施設については、電話での確認を行った
1月26日～27日	調査実施説明会	調査実施説明会を2回開催した（東京・大阪） 2会場で87施設（158名）が参加した
1月26日～28日	調査協力確認	意思確認の書状の返信・受信を行った （調査協力施設の決定：71施設）
1月28日～31日	調査資料送付	担当者へ調査要領・調査票を送付した <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 調査担当者あて（患者関連調査） ①全体調査概要 ②患者特性調査要領・患者特性調査票（調査対象者人数分） ③タイムスタディ調査要領（記入者人数分）・タイムスタディ調査票（記入者人数分） 調査票返送用送付状、調査票返送用着払い伝票 事務長あて（施設関連調査） ①全体調査概要 ⑥施設特性調査票 ⑦コスト調査要領・コスト調査票（FD） 調査票返送用送付状、調査票返送用着払い伝票 </div>
2月1日～2日	院内説明会	院内での関係者説明会 調査記入者のスケジュール確認・調整
調査実施		
2月2日～4日	施設特性調査	1月31日時点での施設の特性及び病棟の状況を記載した
2月2日～3日	調査対象病棟の入院患者一覧表	調査日に調査対象病棟に入院している患者全数を一覧表にまとめた
2月5日～11日	患者特性調査	タイムスタディ調査実施日に入院しているすべての患者を対象に実施した （基準日より7日以内のできるだけ早い日に実施）
2月4日頃 （調査基準日） 2月4日～10日	タイムスタディ調査	24時間調査：看護・介護職（病棟）スタッフ 2月4日 7日間調査：医師・医療技術職（病棟外）スタッフ （基準日を含めた連続7日間調査） 2月4日～2月10日
2月4日～22日	コスト調査	平成15年度の財務データに基づき記載した
2月15日～22日	診療報酬明細書	前月分（平成17年1月分）の対象患者のレセプトのコピーを行った
2月22日頃	患者特性調査再実施	基準日より2週間後に新規入院患者（患者特性調査の調査日からさかのぼって2週間以内に入院した患者）に対して患者特性調査の再調査を実施した
2月25日頃	調査終了	各調査の調査票は、終了次第順次、担当者が確認・取りまとめ返送した
2月28日頃	調査票返送	調査事務局に調査票着

慢性期入院医療の包括評価に関する調査
調査実施スケジュール（第2次調査協力依頼）

